

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 20 日

事務事業名		教育関係機関助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020102000915
						単独/補助	単独	所属課	090801
政策体系		政策体系上の位置付け						教育指導課	
総合計画の施策名		0201 学校教育の充実						課長名	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	
施策名		01 学校教育の充実						担当者名	
手段名		02 ②教育体制の充実							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	03	01	00	単年度繰返し (平成17年度~)		
							教育指導事業		
法令根拠	桜川市教育研究会補助金交付要項								
	[Do] 1. 事務事業の現状把握 (その1)								

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>研究事業部で、指定校指導研究発表会や各種事業、各校の研究、教育講演会、夏季教育研修会、教育論文、研究紀要編集を行っている。これらの事業等を通して、教職員の資質向上を図るとともに児童生徒の学力の向上並びに一人一人を生かすことに努めている。</p> <p>市教育研究会補助金 1,200,000円</p>		<p>補助金申請書の受理、補助金交付決定、補助金の支払い、実績報告書の受理及び審査事務をする。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
補助金申請書の受理、補助金交付決定、補助金の支払い、実績報告書の受理及び審査	教育関係機関団体数	団体	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
教職員	教職員数	人	264.00	261.00	261.00	261.00	261.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
教職員の資質の向上	研修に参加した教職員の数	人	264.00	261.00	261.00	261.00	261.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度	01年度	02年度			期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)			
投 入 量	事業費 財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,200	1,200	1,200	0
	事業費計 (A)	千円	1,200	1,200	1,200	0	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事 業 費 の 内 訳	01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)		
	19 負担金補助及び交付金	1,200		19 負担金補助及び交付金	1,200	
		合 計	1,200		合 計	1,200

事務事業名	教育関係機関助成事業	事務事業No.	20102000915	所属課	教育指導課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川市教育の振興充実を図ることを目的に平成18年5月から開始した。教育界では平成18年12月公布・施行された「教育基本法」をはじめとして、次々と法令等が施行あるいは施行されようとしている。現在は、新しい学習指導要領に向けた文部科学省の動向を踏まえた研究を推進している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
補助金検討委員会で継続すべきとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 学校教育の充実と結びつく。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である これら事業に要する経費について、補助金を交付することは市教育委員会の責務である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 桜川市の教育振興を図るため、小中学校、義務教育学校の全教職員により各教科・教科外の部会を組織し、各教科・教科外の研究研修事業や教育論文の募集などを実施している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止・休止すると教職員の資質の向上とともに児童・生徒の生きる力の向上が図れなくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 統廃合の可能性はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の補助金で事業運営している。事業費を削減することは、教職員の個人負担金を増額しなければならない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市の教育振興を図るための費用負担なので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	桜川市の教育振興を図るため、小中学校の全教職員により各教科・教科外の部会を組織し、各教科・教科外の研究研修事業や教育論文の募集などを実施し、論文が県の優秀賞を受賞するなど成果を上げた。今後も、この事業を継続して桜川市の教育の充実を図る必要がある。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	X																	
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/>																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>